

1. コースの設営（前日）

無人でもコースを外れないよう誘導設定をすることを基本とする。また渋滞を防ぐ工夫をする。

1本道：一定間隔に誘導テープを設置。

分かれ道：分岐看板をおき、行ってはいけない道にテープを張り、看板をつける。

道なき道：一定間隔の誘導テープ設置し、さらに1本線でテープを張る。

幅広く取れるルートで渋滞しやすい場所（林の中の登りなど）では、複数のテープで人の流れを分ける。

相互通行：道の中央部を1本テープでわけ、行き先の看板を設置。

誘導テープ、看板設置の方法

誘導テープは腰より下の位置に設置する。立ち入り禁止テープは腰より下で、地面にはわせも可。

距離看板なども、腰より下に設置のこと。場合により地面に置いて也可。

■誘導看板

距離看板：A3 サイズラミネート。距離は km 単位で小数点1桁まで表示。

現在距離と残り距離の両方を表示。（ロングコース基準）矢印マークも記載。

■分岐点

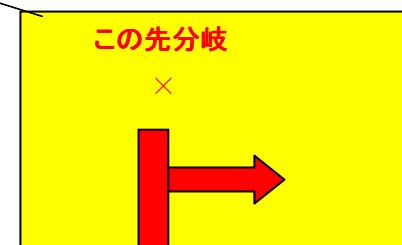
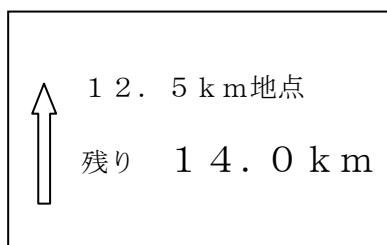
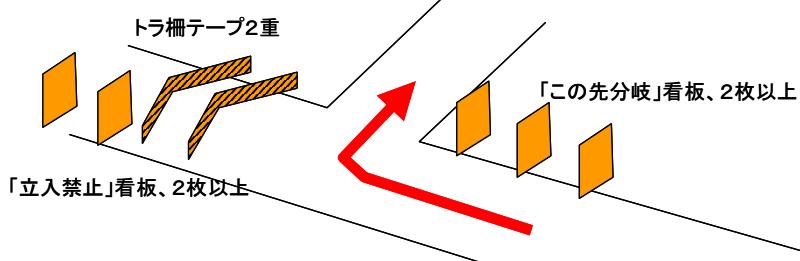
特に分岐点では、走っていても確実にランナーが認識できるよう以下のように設置する。

・行ってはいけない方へ、トラ柵テープ（黄色、立入禁止）を腰より下の位置で2重に張る。

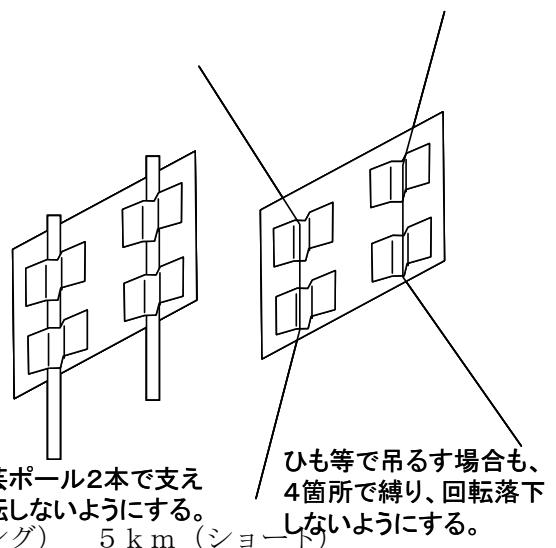
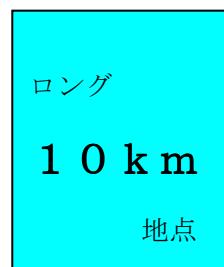
・下図のような看板を必要に応じて設置する。

立入禁止看板：A3 サイズ。黄色時に赤文字。特に迷いやすい大きな道の分岐では A2 サイズ

分岐注意看板：分岐手前に3枚連續で掲示。A3 サイズ。黄色地に赤文字



距離看板は、A2 縦サイズで表示。

**■看板類設置上の留意**

前日設置するため、夜の間に雨や風で、

看板がおちたり、向きがかわったりする可能性があります。

かならず、看板は2箇所以上でとめ、回転、落下しないよう
しっかり設置してください。

■距離看板を次の位置に設置。 5, 10, 15, 20 km (ロング) 5 km (ショート)

なお、前日設置後、各エリアチーフは誘導テープ、看板の設置状態をチェックすること。

2. コースの撤収

スイーパーが通過したら、撤収に入る。

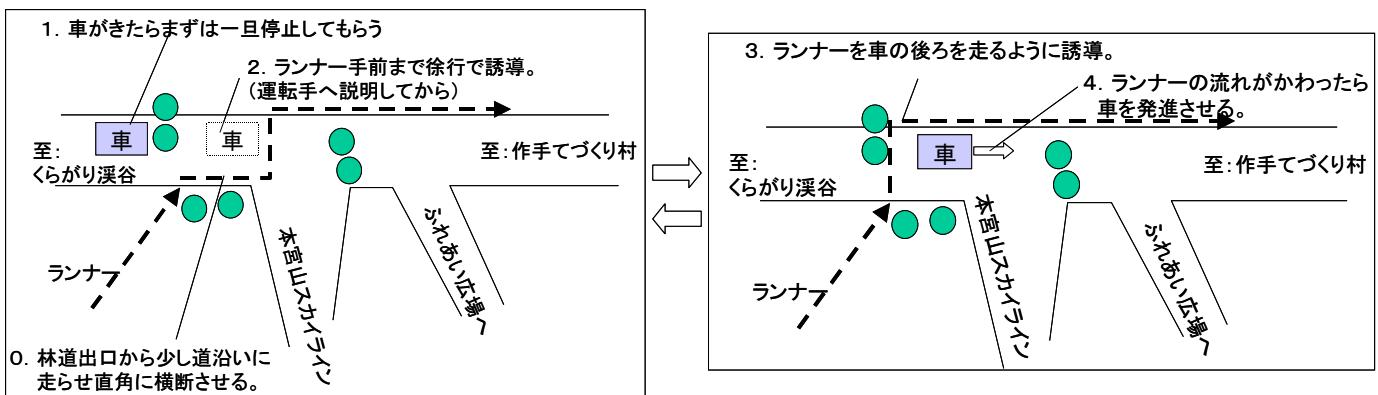
撤収は、撤収ポイントに向かい、すべての看板と誘導テープとゴミを拾いつつ戻ること。

ルート上、道や地面が荒れている場合は、その場所をチーフへ報告。

各エリアチーフは距離看板がすべてあることを確認し、撤収忘れないことを確認する。

3. 横断箇所誘導

■ふれあい広場出口の誘導方法



■その他の横断箇所

- ・車がきたら、一旦停止をお願いする。・ランナーの隙間をぬって通過させる。
- ・車を通過させている間に車がきた場合は、ランナーに一旦停止をお願いする。(コースにたって、制止する)
- ・道路側に、車向けの注意看板を両方向3枚づつ出すこと。

4. エイドステーション

- ・ポリタンク2個はランナーのセルフサービス用として使えるようにしておく。
- ・ポリタンクからやかんに水をいれ、さらに紙コップについて机にならべとつてもらう。
(適宜、スポーツドリンクも2倍希釈程度で作っておく)
- ・補助食品は、バナナは半分に切って、パンはそのままのサイズで出す。
- ・生ゴミはゴミ袋へ、紙コップは使用済、未使用を分別してダンボールで詰めてください。
- ・ゴミ箱も準備しますが、ダンボールのため、雨の場合は外側にもゴミ袋をかぶせ防水する。
- ・各ASに配布される資材などは、別紙「資材一覧」を参照。

5. 開門 (稻垣)

第1開門: AS2は、13:30で閉鎖。(ロング最終スタート10:30から3:00)

ただし、この時点では、数分程度の遅れであれば、通過させる。遅れて疲労が見えるランナーは止める。停めたランナーはスタッフの車で会場へ輸送。

重要: 停めたランナーは必ずゼッケンを記録しゴール係へ伝えること。

第2開門: No.6 2は、15:00で閉鎖。

これ以降のランナーは、コースへ入らず、県道沿いにゴールまで帰るように誘導。

重要: 直接ゴールへ向ったランナーのゼッケンを記録しゴール係へ伝えること。

なお、15:00の段階で第2開門に到達していないランナーには、そのまま誘導テープにしたがってコースを進み、第2開門から県道を伝ってゴールへ戻るよう説明する。(各誘導スタッフ)

その他

蜂を見た、蜂にさされた、などの情報があった場合は、すみやかに、チーフまたはエイドへ連絡。

蜂への注意をランナーへ促す。場合によりその場で大きく安全側へ迂回誘導する。

なお、各エイド、本部には、「蜂用スプレー」を準備している。現場へとどけ、コースから隔離する。

隔離しきれず、多くの被害者がでそうな場合は、一旦、ランナーを止めてもよい。